



2019 年度小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目 (Ⅱ)

家 庭

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験運営大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 運営大学名、氏名、受験番号、受験科目を2019年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから50分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) 
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) 

以下の問いにおいて「小学校学習指導要領」とは、「『小学校学習指導要領』(平成 29 年 3 月文部科学省告示)第 2 章 第 8 節 家庭」を指し、『小学校学習指導要領解説』とは、「文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 家庭編』(平成 29 年 7 月)」を指すものとする。

問 1 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第 1 目標」である。□①□ から □⑤□ に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

□①□ の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る □②□ を身に付けるようにする。
- (2) □③□ 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、□④□ を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や □⑤□ の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

[解答群]

	①	②	③	④	⑤
ア	家庭	技術	日常	体験	社会
イ	生活	技能	日常	実践	地域
ウ	家庭	技能	家庭	体験	社会
エ	生活	技術	家庭	実践	地域

問 2 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 1 章 総説 2 家庭科改訂の趣旨及び要点」について述べたものである。内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 小・中・高等学校の各内容の接続が見えるように、すべての学校段階で、「家族・家庭生活」、「衣食住の生活」、「消費生活と環境」に関する三つの枠組みに整理された。
- イ 生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を検討し、計画、実践、評価・改善するという一連の学習過程を重視する。
- ウ 「家族・家庭生活」においては、幼児との触れ合い体験などを一層重視するとともに、高齢者など地域の人々と協働することに関する内容を新設している。
- エ 学年の目標については、児童の実態に応じた指導ができるようにするために、第 5 学年と第 6 学年の学年ごとに示している。

問 3 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 家庭科の目標及び内容 第2節 家庭科の内容構成」について述べたものである。内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 小学校における空間軸の視点は、主に家庭と地域、時間軸の視点は、現在及びこれまでの生活である。

イ 調理の基礎では、加熱操作が適切にできるようにするために、蒸す材料としてじゃがいもなどを扱うこととしている。

ウ 生活を豊かにするための布を用いた製作では、ゆとりや縫いしろの必要性を理解するために、日常生活で使用するエプロンなどの製作を扱うこととしている。

エ 日本の生活文化の大切さに気付くことができるよう、和食の基本となるだしの役割や季節に合わせた着方や住まい方など、日本の伝統的な生活について扱うこととしている。

問 4 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」について述べたものである。内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 家庭科の学習を通して身に付ける知識及び技能などは、繰り返して学習したり日常生活で活用したりして定着を図ることができる。

イ 学習への興味・関心や学習効果を高めるために、コンピュータや情報通信ネットワークなどを頻繁に活用する。

ウ 生活文化の大切さを伝える活動などにおいては、地域の高齢者の協力を得ることにより、効果的な学習を展開することが考えられる。

エ 家庭科で用いる「団らん」、「健康」、「手入れ」、「快適さ」、「ゆでる」などの生活に関連の深い様々な言葉が、児童自身の中で実感を伴った明確な概念として形作られるようにする。

問 5 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 指導計画の作成と内容の取扱い 3 実習の指導」について述べたものである。内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 実習室の学習環境については、採光、通風、換気等に留意するとともに、児童の作業能率や動線等を考慮して設備を配備したり、作業台の間隔を十分確保したりするなど、事故防止に努める。

イ 調理実習で扱う材料にアレルギーの原因となる物質を含む食品が含まれていないかを確認する。

ウ 製作や調理実習の前には手指を十分に洗うなど衛生面にも留意するように指導する。

エ 調理の基礎を学習していない小学校の段階では、生の魚や肉を取扱う場合は、十分に加熱するように注意する。

問 6 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 A 家族・家庭生活」の「(2) 家庭生活と仕事」には、「ア 家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることや生活時間の有効な使い方について理解すること。」と記されている。これに示された指導内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 家族の一員として生活時間の使い方を考え、家庭の仕事を実践することができるようにする。

イ 家庭との連携を図り、地域での仕事を継続的に行うことにより、家庭生活について考えることができるようにする。

ウ 家庭での生活は、家庭生活を支える仕事の積み重ねによって、健康、快適で安全に営むことができることに気付くようにする。

エ 家族の生活時間と自分の生活時間の使い方を共に工夫することによって、家庭生活が円滑に営まれることに気付くことができるようにする。

問 7 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 B 衣食住の生活 (1) 食事の役割」について述べたものである。内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 規則正しい食事が生活のリズムをつくることや、朝食を食べることによって学習や活動のための体の準備ができることなどにも触れるようにする。
- イ 食事の仕方については、はしの持ち方や食器の扱い方、食べるときの姿勢などに気を付けることや、人と共に食べるときには、食べる速さに配慮し、食事にふさわしい会話を考えるなど、楽しく食事をするために必要なマナーについて理解できるようにする。
- ウ 日常の食事の仕方については、児童の日常の生活の中から、人と共に楽しく食べるためのマナーや食卓の工夫について問題を見だし、課題を設定するようにする。
- エ 生活の中で食事が果たす役割については、食事を共にすることが人間関係を深めたり、偏食を改善し、栄養のバランスのよい食事にもつながったりすること、行事食や郷土料理など、食事が文化を伝える役割もあることを理解できるようにする。

問 8 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容 B 衣食住の生活 (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作」について述べたものである。手縫いに関する縫い方の内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 手縫いをするためには、縫い針に糸を通したり、糸端に玉結びや玉どめをしたり、布を合わせて縫ったりする必要があることを理解できるようにする。
- イ 手縫いとして、なみ縫い、返し縫い、まつり縫いなどの縫い方を扱うようにする。
- ウ なみ縫いについては、2～3針続けて縫う程度でもよいと考えられる。
- エ 手縫いに用いる糸の適切な長さや扱い方などについても理解できるようにする。

問 9 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第2章 家庭科の目標及び内容 第3節 家庭科の内容 B 衣食住の生活 住生活」について述べたものである。内容の取扱いとして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 学校周辺や家庭での様々な音を取り上げ、音には快適な音や騒音となる不快な生活音があることを理解できるようにする。
- イ カビ・ダニ等については、「通風・換気」や「清掃」と関連させて扱う。
- ウ 中学校で扱う「住居の基本的な機能」のうち、「心身の安らぎと健康を維持する働き」を小学校の「住まいの主な働き」として扱う。
- エ 湿度のほかに様々な物質を含めて室内の空気を入れ換えることの大切さにも触れるようにする。

問10 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 家庭科の目標及び内容 第3節 家庭科の内容 C 消費生活・環境」の「(1) 物や金銭の使い方と買物」には、「ア(ア)買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。」と記されている。これに示された指導内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 買う前に本当に必要かどうかをよく考えることや、買った後に十分に活用して最後まで使い切ることを理解できるようにする。
- イ 買物袋を持参したり、不用な包装は断ったりするなどの工夫をすることが消費者としての大切な役割であることに気付くようにする。
- ウ 誤った使い方などによる被害を防ぐためには、消費者が説明書や表示、契約内容を確認することが重要であることに気付くようにする。
- エ 買物で困ったことが起きた場合には、家族や先生などの大人に相談することや、保護者と共に消費生活センターなどの相談機関を利用することにも触れるようにする。

問11 次の文は、平成27年国勢調査世帯構造等基本集計結果について述べたものである。内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 総世帯数に占める核家族世帯数の割合は7割を超えている。
- イ 総世帯数に占める3世代世帯数の割合は1割に満たない。
- ウ 平成22年国勢調査の集計結果と比べて、総世帯数に占めるひとり親と子供から成る世帯の割合は増加している。
- エ 平成22年国勢調査の集計結果と比べて、総世帯数に占める単身世帯数の割合は増加している。

問12 栄養や食品に関する記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア たんぱく質は、主として筋肉、血液などの体を構成する成分となるが、エネルギー源としては利用されない。
- イ 中性脂肪は、脂肪酸とグルコースが結合してできている。
- ウ でんぷんは、植物の主な貯蔵多糖でアミロースとアミロペクチンからなる。
- エ ビタミンCは、脂溶性ビタミンの一つで、欠乏すると壊血病を引き起こす。

問13 食事の計画及び様式に関する記述として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 食品群別摂取量の目安は、1食分に必要な栄養量を食品群別に食品の量で置き換えて示したものである。
- イ 食事バランスガイドは、料理単位で1日に「何を」、「どれだけ」食べたらよいのかの目安をわかりやすくイラストで示したものである。
- ウ 食品は含まれる栄養素の特徴により、「主にエネルギーのもとになる」、「主に体をつくるもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」の三つのグループに分けることができる。
- エ 一汁三菜の献立は、主食に汁物、主菜、副菜、副々菜を組み合わせたものである。

問14 アレルゲン(食物アレルギーの原因となる物質)を含む食品の表示において、特定原材料(食品表示基準に掲げる表示義務のある7品目)に含まれないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 卵
- イ 小麦
- ウ 米
- エ 落花生

問15 加熱調理操作に関する記述として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 米に水を加えて加熱し、米飯に仕上げる加熱操作を、炊くという。
- イ 蒸すとは、食品を大量の水または湯の中で加熱する操作である。
- ウ 煮るとは、調味液の入った煮汁の中で、食品を加熱するとともに同時に調味を行う操作である。
- エ 野菜を弱い火力でいためると調理時間も長くなり水っぽくなるので、強火にして短時間でいためる方がよい。

問16 洗濯に関する記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 家庭洗濯は乾式洗濯である。
- イ 柔軟剤の主成分は陰イオン界面活性剤である。
- ウ 浴比とは、洗濯物の量と水の体積比のことである。
- エ 動物繊維はアルカリに弱いので、中性洗剤で洗濯するのがよい。

問17 健康で快適な室内環境の整え方として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 夏の西側壁面における日射の調整には、軒や庇^{ひさし}が効果的である。
- イ 体感温度を下げ、涼しくなる自然通風の風速は、0.15 m/sec 程度が適当とされる。
- ウ 自然換気は主に、屋外の風力と室内外の温度差によって行われる。
- エ 二重窓の外側サッシの内側の結露防止には、内側サッシより外側サッシの気密性を高くするほうがよい。

問18 次の文は、快適な住まいに関する記述である。①～⑤の文の正誤(○×)の組合せとして正しいものを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 換気回数は、室の1時間当たりの換気量を室容積で除した値である。
- ② 消毒用アルコールは、カビに対する殺菌作用と漂白作用がある。
- ③ 家屋内に生息するダニは60%以上の湿度でも、温度10℃以下では繁殖できず死ぬ。
- ④ 冬は暖房した部屋から外気に向かって水蒸気が流れ、夏は外気から冷房する部屋に向かって水蒸気が流れ込む。
- ⑤ 室内におけるホルムアルデヒドの放散量は室内の温度と湿度が高くなればなるほど多くなる。

[解答群]

	①	②	③	④	⑤
ア	○	×	×	○	○
イ	×	○	×	○	×
ウ	○	×	○	×	○
エ	×	○	○	×	×

問19 次の文は、売買契約の基礎に関する内容である。店で商品を買ったが、使う前に不要になった場合の返品に関する内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 商品や表示、販売方法に問題がなければ、返品は受け付けられない場合がある。
- イ レシートがあり、1週間以内なら、必ず返品は受け付けられる。
- ウ 商品を使用していなければ、いつでも返品は受け付けられる。
- エ レシートがあり、セール品など特別販売品以外の商品であれば、未使用の商品の返品はいつでも受け付けられる。

問20 人間活動によって起こった様々な問題を、国際社会が協働して解決に取り組んでいく目標として2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(行動計画)に関する内容として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「持続可能な開発目標(SDGs)」として、互いに関連性を有しており、経済、社会及び環境を調和させる目標が掲げられている。
- イ 「ミレニアム開発目標(MDGs)」で未達成な課題を中心とした、途上国に適用される開発目標である。
- ウ 各国の国情、能力、開発水準に関わらず、一定水準の目標達成が義務付けられている。
- エ 目標は環境、経済、社会の幅広い分野にわたっているため、いくつかの目標に特化して取り組むことが求められている。